

つくばで輝く研究者

SANO yukie 佐野 幸恵 さん

筑波大学システム情報系社会工学域 准教授



愛媛県出身。2003年奈良女子大学大学院人間文化研究科(物理科学専攻)修了。同年富士通ゼネラル入社。07年同社を退社し、東京工業大学大学院総合理工学研究科に入学。13年に博士(理学)の学位を取得。14年に筑波大学システム情報系助教に着任し、22年8月より現職。主にSNSにおける情報拡散や、ネットワーク科学に関する研究を行っている。

《人間の行動パターンを物理法則で解明》

人間集団の行動をデータ解析して法則性(パターン)を見出し、数理モデルを構築してシミュレーションすることで、社会の動きを物理現象のように解明する「社会経済物理」その中でも、主にSNSにおける情報拡散や社会ネットワーク全般に関連する研究を行っている。「SNSの情報拡散ネットワークの例だと、正確な情報は発信源を中心に美しい星型に拡散しますが、偽情報はより複雑でいびつな形になります。このように世の中のあらゆることを数式で表す研究をしています」

《宇宙や天文にあこがれた幼少期》

愛媛県出身。実家が寺院で、春には敷地内にある桜の大きさが美しい花を咲かせる自然豊かな環境



研究室ではスタンド式の机を愛用

物理で社会現象を解明する

に生まれ育った。「幼いころは妹やいとこと裏山で基地を作ったり、読書に没頭したり。いつしか宇宙に強いあこがれを抱き、図鑑や専門書で調べた内容を自分専用の『宇宙ノート』にまとめたを定期購読する天文系の雑誌を定期的に読むなど宇宙への関心は尽きず、さらにアインシュタインを取り上げたテレビ番組の影響で物理学にも興味を持つた。高校に入学するとフイールドホッケー部に入部。インターハイにも出場するなど文武両道の高校生活を送るが、理系分野の成績が奮わず文理選択に苦悩。物理への強い思いと適性に悩んだが「迷ったら理系に」との母親の後押しもあり理系を選択。大学は物理学科に進学した。「やりたいことをやらせてくれた両親には感謝しかありません」。未だ女性が少数の理系分野も、女子大学だったことが幸いし多くの理系女性たちと交流できたことが大学時代の財産だと話す。物理学で修士号を取得し、富士通ゼネラルに入社。システムエンジニアとして消防署のシステム構築などを担当した。公共システムに携わっている喜びがありましたが、アカデミアへの思いが捨てきれず「退職して東京工業大学大学院へ。修士時代に出合った、あらゆるものを対象とする『複雑系』の物理を深めようと、当時ブログなどが出始めたSNSを研究対象にして現在に至る。『自分のペー』スで主体的に物事を進められるのが研究者の醍醐味。仕事として本や論文を読んだり、書いたりできることも魅力です」

つくばの生活

夫と保育園児の長男の3人暮らし。パパ友ママ友にも研究者が多く、世間話から共同研究に発展する面白さはつくばならでは。あこがれだった、ロケットがある街に住む幸せをかみしめています」



国営ひたち海浜公園で息子と